

# 「スポーツで輝く関西」の実現に向けた取り組みの推進

新型コロナウイルス感染症の拡大がスポーツ界にも大きな影響を及ぼすなか、昨年夏の東京オリンピック・パラリンピックでの選手の活躍は人々に大きな感動を与え、スポーツの持つ力・意義があらためて確認された。

当会では、2018年に策定した「関西スポーツ振興ビジョン」に基づき、関西の産学官・スポーツ界との連携のもと、2025年を目標年として「スポーツで輝く関西」の実現に向けた取り組みを進めている。今号では2021年度の活動状況と今後の取り組み方針を紹介する。

## 関西スポーツ振興ビジョンの具体化に向けて

2022年5月に開催を予定していた生涯スポーツの国際大会「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が再延期となるなど、コロナ禍はいまだスポーツ界に大きな影響を及ぼしている。こうしたなか当会は、“こんな時こそスポーツ!”との考えのもと、2018年7月に策定した「関西スポーツ振興ビジョン」で掲げた4本柱「生涯スポーツの振興」「トップアスリートの育成」「スポーツイベントの招致」「スポーツ産業の振興」の具体化に向けた取り組みをオール関西で進めている。2021年度の取り組みや今後の活動について次に紹介する。

## 生涯スポーツ振興事業

### ■スポーツイベントへのアスリート派遣テスト事業

当会では、アスリート派遣事業を昨年度からテスト事業として実施している。これは、自治体等が主催するスポーツイベントに、実業団チーム等を有する企業の協力を得てアスリートを派遣することで、当該イベントの魅力向上・スポーツ参加の裾野拡大をはかることを目的とした事業である。今年度は、東大阪市、奈

良県、和歌山県で計3件のテスト事業を実施した。

### ①東大阪市での初心者向け体験型スポーツイベント

東大阪市では2019年度より小学校低学年向けの体験型スポーツイベント「[してみる]」を開催している。2021年10月のイベントでは、昨年度に続き、当会の協力によりVリーグに加盟している女子バレーボールチーム・JTマーヴェラスのOGの参加が実現し、バレーボール教室を開催した。

また、会場の一角では、当会が大学スポーツコンソーシアムKANSAI(KCAA)との連携を後押ししたことで、KCAAの学生部会の企画・運営による「未経験のスポーツで地域活性化!」をコンセプトとした「ハットラグビー」「モルック」というユニークなスポーツの体験も初めて実施された。

こうした当会の支援が実を結び、2021年12月には、KCAAと東大阪市がパートナーシップ協定を締結した。これにより、産学官が連携した取り組みのより一層の強化が期待される。



締結式の様子

### ②奈良県での関西小学生スポーツ交流大会

関西広域連合は毎年、関西小学生スポーツ交流大会を関西各地で開催している。今年度は2021年11月に奈良県でラグビー大会を開催した(共催:奈良県、主管:奈良県ラグビーフットボール協会 ラグビー委員会)。同大会では、当会の支援のもと花園



2021年度のアスリート派遣テスト事業の様子

近鉄ライナーズの選手等の協力が実現し、参加チームとのエキシビジョンマッチや交流会を実施した。

### ③和歌山県でのゴールデンキッズ発掘プロジェクト

和歌山県では、体力測定結果等が優れた県内の小学生をゴールデンキッズとして認定し、関係団体と連携・協力しつつ発達段階に応じた育成プログラムを実施することで、世界の舞台で活躍し県民に夢や感動を与えることができるアスリートの育成に取り組んでいる。その一環として、2021年11月と12月に、当会は住友電気工業陸上競技部の協力を得て現役アスリート

を派遣し、走り方の実技披露やアドバイス等を行った。トップアスリートの迫力あるプレーを目にすることができただけでなく、直接、対戦・交流をしたり助言を得たりすることができるこうした場合は、貴重な機会であることから、継続開催を求める声が多数聞かれた。

本事業は今後、関西広域連合がイベントを主催する自治体等との窓口を務めることとなっている。当会は産学官・スポーツ界の連携を強化しつつ、今後もアスリート派遣事業の継続・拡大実施に取り組んでいく。

### ■関西スポーツ応援企業表彰

当会と関西広域連合が、2019年度より関西のスポーツ振興や地域振興、健康経営等に取り組んでいる企業等を表彰している「関西スポーツ応援企業表彰」は、今回で3回目を迎えた。表彰式は新型コロナウイルス感染症の拡大により残念ながら中止となったが、受賞した5社・団体(表)の代表に対し表彰状と副賞を贈呈した。

大賞の紀陽銀行については、長年にわたる野球や卓球など各種スポーツ大会の開催に対する支援や、女子バスケットボールチームを通じた県内のバスケット

表 第3回「関西スポーツ応援企業表彰」受賞企業・団体

#### 大賞：紀陽銀行(和歌山市)

スポーツを通じた地域活性化、競技力向上、行員の健康増進への支援

#### スポーツ振興賞：(公財)滋賀レイクスターズ(大津市)

アスリートの雇用・支援、各種スクール運営等を通じたスポーツ振興

#### 地域振興賞：神戸商工会議所(神戸市)

観光・自然資源の活用、企業間交流の促進等を通じた地域活性化への貢献

#### 健康経営賞：ロート製薬(大阪市)

全社ウォーキングイベント「とこチャレ」～社員の健康増進に向けた取り組み～

#### 特別賞：エール(大津市)

体育遊びを通じた子どもたちの心身の成長サポート

ボール普及と競技力向上への貢献、スポーツイベントへの自社保有施設の開放、スポーツを通じた行員の健康増進への支援など、幅広い分野でスポーツ振興に取り組んでいることを評価し、贈賞した。

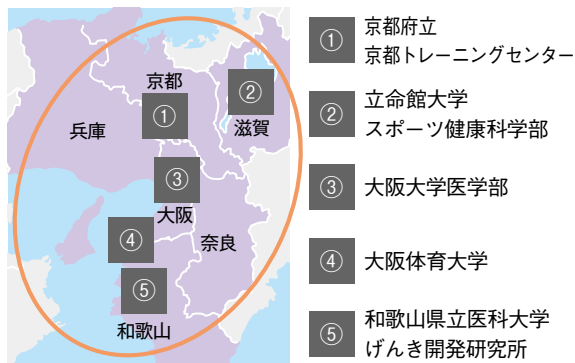
### トップアスリート育成事業

#### ■ジュニアアスリート対象の医科学支援テスト事業

関西には、医科学の知見を活用したアスリートの競技力向上やけがの予防等の分野においてわが国有数の実績を誇る大学やトレーニングセンター、研究所等が集積している。当会では将来、国際大会等での活躍が期待されるジュニアアスリートの競技力向上を支援するため、2020年度から京都府立京都トレーニングセンター、立命館大学スポーツ健康科学部、大阪大学医学部、大阪体育大学、2021年度からはさらに和歌山県立医科大学げんき開発研究所の参加・協力を得て、医科学支援テスト事業を実施している(図)。

2021年度はテスト事業として、医科学測定会(各府県の体育・スポーツ協会から推薦のあったジュニア選手20名に対する測定会の開催とフィードバック)を実施するとともに、新たに医科学サポートプログラム(医科学測定会参加者のうち、測定結果や競技成績が特に優秀な選手7名に対する総合的な医科学支援)を実施した。

#### 図 医科学支援テスト事業への参画機関



### スポーツを通じた関西の活性化に向けて

当会はこれまでの活動を通じて、経済界はもとより、関西広域連合・自治体・大学・トレーニングセンター等、さまざまなセクターとのネットワークを構築してきた。

今後はこうしたネットワークのさらなる強化をはかりつつ、各事業によって得られた知見・知識を活用し、スポーツを通じた関西の活性化に引き続き取り組んでいく。

(地域連携部 渡邊悠輔)